

故郷を想う

「きばいが！伊佐」の挑戦

団体のロゴマークでもあるガッツポーズで写るのは、市民活動団体「きばいが！伊佐」のみなさん。6月15日から7泊8日の日程で実施された「チャレンジしよう！国際交流in伊佐2023」の企画、運営を行いました。

「きばいが！伊佐」について話を伺うのは代表の前田千弘さん。団体設立のきっかけは高校の同窓会だそうです。「我々が高校生の頃は9クラスあったが、昨今は生徒数も減ってきて寂しい」。何気ない会話に地方衰退の危機感を覚えた前田さんたちは、故郷の活性化のために何かできないかと一念発起。メンバーの大丸浩二さんが国際交流プログラムに携わっていたことも後押しし、企画への挑戦を決めました。

「チャレンジしよう！国際交流in伊佐2023」は、日本に興味を持つ外国人が伊佐市を訪問、滞在しさまざまな交流を行う国際交流事業（WCI）のプログラム。今回は24人が訪れ、ホストファミリーと生活しながら農業体験や観光地散策、地元企業や中高生との交流等を通して日本の文化に触れました。

ホストファミリーの募集にはとて

も苦労したそうです。「メディアやSNS、広告などで募ったが初めての試みということもあり、なかなか受け入れ先が決まらず、不安な日々が続いた。今年4月頃に目途が立ちホツとしたのを覚えている」と話します。

苦労した一方で嬉しいこともありました。ホストファミリーへのアンケートを実施したときのこと。「来年も受け入れたいですか？」の質問に対し答えは「いいえ」。少し残念な気持ちで内容を見ると「今回のホストファミリーの経験は大変良い思い出になった。来年も受け入れたときに今年の思い出を越えられるか心配なので敢えてのいいえです」。読み終えると自然と笑みがこぼれ、達成感に満たされたそうです。

今後の展望を尋ねると「第2回目の国際交流はもちろんのこと、人の流入を促し、訪れた人々が口コミやSNS等で伊佐の魅力を発信してもらえるような企画を考えていきたい。結果として観光商工の発展など伊佐市の活性化の一助になれば」と話します。「きばいが！伊佐」の今後注目です！



▲「チャレンジしよう！国際交流 in 伊佐 2023」の様子。第2回目も計画中とのことですので、皆さんもホストファミリーに応募して、おうち留学を体験してみてください！



電気自動車を活用した連携協定



6/30

市と日産自動車株式会社、鹿児島日産自動車株式会社の3者で「電気自動車を活用した脱炭素化及び強靱化に関する連携協定」を締結しました。

走行時の排出ガスゼロによる脱炭素社会の実現や災害時に蓄電池としての利活用が期待されるEV（電気自動車）。本協定を通じてEVの普及促進を図り、自然環境の保全、クリーンで住みやすい持続可能なまちづくりをめざします。

防犯功労者・団体表彰



7/7

永年にわたり地域安全モニターや地域防犯パトロールに従事された個人・団体が表彰されました。

- 川畑 克矢さん（前目：左から2番目）
- 高岡 公紀さん（白木）
- 荒瀬青壮年部パトロール隊（川南：右から2番目）
- 湯之元青壮年パトロール隊（川北）

ミニコンサート



7/14

あゆみ未来こども園で大口高校音楽部6人によるミニコンサートが開催されました。

授業の一環として生徒が企画した初めての試み。「アンパンマンのマーチ」や「パプリカ」など5曲が演奏され、園児らは歌ったり、踊ったりと大喜びでした。

音楽部部長の山口友愛さん（3年）は「初めての試みで不安だったが、子どもたちが喜んでいる姿を見て楽しく演奏できた。伊佐が盛り上がるような活動を今後も続けていけたら」と話しました。

犯罪のない明るい社会

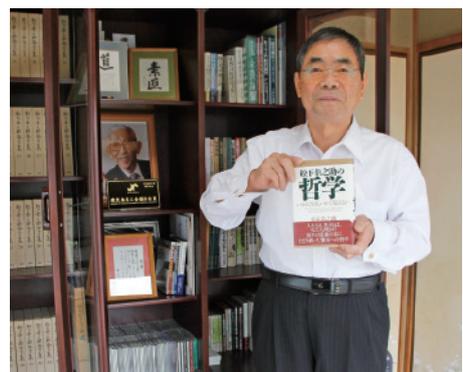


7/3

「第73回社会を明るくする運動」メッセージ伝達式が行われ、伊佐保護区保護司会の代表者が、内閣総理大臣と県知事からのメッセージを市長に伝達しました。

「社会を明るくする運動」は地域一体となって犯罪や非行の防止、更生について理解を深め、それぞれの立場から犯罪や非行のない安全で安心な明るい社会を築くための啓発運動です。市長は「市民のみなさまのご協力があってこそ地域の安全は守られている。メッセージをしっかりと受け止め、安全安心なまちづくりを進めたい」と話しました。

菱刈文庫



鹿児島市在住の人材企画会社代表田子山和人さんが、菱刈重留の生家を改装し、「菱刈文庫」を開設されました。

これまで仕事や趣味で使ってこられたおよそ1千冊の蔵書は、敬愛する松下幸之助氏の発言集全45巻のほか、司馬遼太郎氏の小説など多様なジャンルに及び、一般に開放されています。来館希望者は、事前に田子山さん（☎090-9582-4715）へ連絡してください。



こども手帳等の寄贈



公益財団法人日本公衆電話会鹿児島支部から、地域や子どもたちの安心・安全のために役立ててくださいと、「こども手帳」等を寄贈していただきました。防犯等について詳しく記載されているこども手帳は、夏休み前に市内の小学生全員に配布されました。

リニューアルオープン



大口里に「シルバーふれあいショップ&サロン」がリニューアルオープンしました。シルバー会員を中心に伊佐市で生産された米、野菜、果物や農産加工品などが販売されているほか、コーヒーや紅茶等を楽しみながら休憩もできます。

シルバー人材センター大辻寛信理事長は「人との交流、出会いを大切に多くの方々のふれあいの場となることを期待している。みなさんと共に元氣な伊佐市を目指していきたい」と話しました。

おうだんほどうをわたろうね



県警交通安全教育班の「ひまわり号」が慈光保育園を訪れ、基本的な交通安全教育を行いました。

年少から年長まで37人の園児たちは、交通安全キャラクター「全ちゃん」の呼びかけに大きな声で返事をし、横断歩道の渡り方など実技もいっしょに学びました。

大きく育て ウナギの稚魚放流



川内川上流漁業協同組合による、ウナギの稚魚の放流が行われました。

この日は、伊佐市・湧水町の川内川水系流域8地区で、合わせて100kgが放流されました。

川内川の支流・羽月川沿いに位置する轟公園の川岸でも放流が行われ、川に放たれると元気に水面を泳いでいきました。

日本舞踊珠峰流珠美会 チャリティー感謝祭

菱刈環境改善センターで、日本舞踊珠峰流珠美会創立41周年記念「ありがとう!! 元氣一杯伊佐市ふるさと応援チャリティー感謝祭」が行われました。

感謝祭は2部構成で開催され、第1部では伊佐市内外から30組の個人と団体が出演し、歌や踊りなどを披露。第2部では日本舞踊、津軽三味線が演奏され、ふるさと大使の実愛さんや竹之内さんも友情・特別出演されました。

会場には募金箱が設置され、来場者からの義援金と珠美会会主原口透子さんからの義援金を「伊佐市のために役立てて欲しい」と市長へ手渡されました。

